

毎週日曜発行
2017 4/23

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

みんなが気になる明日の天気。どうやって予想しているのかな？ かほピョンはきょう、気象予報士の人に話を聞いたよ。

「昼にかけて天気は回復しますが、夜は冷えこむでしょう。野球観戦やお花見のご予定がある方は暖かい服でお出掛けください」。佐藤正則さん



平日朝の生番組「ウオッチン！みやぎ」に出演する日は、朝5時に局入り。気象庁から来る十数種類の専門的な天気図など、さまざまな気象データを分析し、自身の経験や、視聴者から届く各地の天気情報も参考にしながら、予想します。最新情報を伝えるため、ボードに天気図を書くのは放送直前です。

気象予報士

佐藤 正則さん (38)

＝仙台市太白区＝



空もようを分かりやすく

「天気は人々の生活や命、財産にも関わるので、責任が重い仕事です。当たり前外れはすぐ分かるため毎日テストされているような感じですよ」と佐藤さん。予想が当たり、視聴者に感謝された時にや

りがいを感じます。心掛けていっているのは分かりやすい表現です。「1時間30分の雨なら『バケツをひっくり返したような雨』と話します。タイヤ交換の時期、スギ花粉の飛散など天気と関係す

る生活情報も大切にして伝えていきます」
小さい頃から空や雲に興味を持っていて、大学時代に気象予報士の資格

テレビで見ると柔らかい笑顔と、気象データを分析する厳しいまなざしが印象的だったよ。未来を予想する仕事は、責任が重くて、大変な重圧があるんだな！



生放送の直前にリハーサルする佐藤さん。短い時間でどんな情報を伝えるかを考えます



机の上にはずらりと並んだ専門的な天気図

を取りました。「小中学生のみなさんも空を見上げて、五感で天気を感じてください。みなさんが大人になる頃は地球温暖化が進み、異常気象や災害が起こりやすくなるとの予測もあるので、天気や防災に対する意識を高めてね」

今週の注目ニュース

◇24日(月) 第16回国際花火シンポジウム(～29日、大仙市)
「大曲の花火」で有名な大仙市に世界の花火関係者が集まる。期間中、世界と日本の花火が毎日打ち上げられるよ。

◇27日(木) 第8回世界盆栽大会(～30日、さいたま市)
海外で盆栽ファンがふえているそうだよ。大会は4年に1度で、日本で開かれるのは第1回以来。さいたま市は盆栽の大産地なんだ。

- 2 ニコ☆プチ
- 3 3分チャレンジ
- 4・5 いいね
- 6 英語
- 7 かほくワークシート
- 8 書道作品